

中小企業景況調査の集計分析（2021.10～12月期）

全産業DI	全国（n：約8,000社）			河辺雄和（n：15社）		
	DI	前期比	天気図	DI	前期比	天気図
売上額	△23.3	+9.0		△20.0	+6.7	
採算	△31.0	+5.3		△46.7	-20.0	
資金繰り	△18.4	+4.8		△13.3	+20.0	

全国の分析コメント

出典：全国商工会連合会「中小企業景況調査報告書」

- 全業種 ○ 4業種（製造業・建設業・小売業・サービス業）ほぼ全ての主要3DIが前期水準から改善。
 ○ 全体としては売上額DIの改善がみられる。
 △ 4業種全てで原材料や仕入れ単価の上昇といったコスト面の問題点が目立っている。
 △ 世界的にコロナ禍からの経済活動の回復に伴う急激なコスト上昇の圧力に直面している。
△ 業況は前期と比較すると改善傾向にあるものの、原材料価格の高騰や物価の急激な上振れなども踏まえ、今後の中小企業の先行きには注視が必要。
- 製造業 ○ 主要3DIは全て一昨年同時期（2019年10-12月）の水準を超えて推移している。
 ○ 「精密機械器具製造業」「一般機械器具製造業」は引き続き、加えて「パルプ・紙・紙加工品製造業」「飲料・飼料・たばこ製造業」などの売上額DIの改善がみられる。
 △ 経営上の問題点として「コスト面」の指摘が27.3%（対前期9.1ポイント増）。
- 建設業 △ 経営上の問題点として「コスト面」の指摘が35.3%（対前期8.4ポイント増加）。
- 小売業 ○ 売上額DIが一昨年の水準を超えており、産業全体の売上額DIの引き上げ要因となった。
 ○ 経営上の問題点として「需要の停滞」の指摘が多いものの対前期6.1ポイント低下。
 △ 経営上の問題点として「コスト面」の指摘が対前期6.9ポイント増加。
- サービス業 ○ 経営上の問題点として「需要の停滞」の指摘が多いものの対前期7.6ポイント低下。
 △ 経営上の問題点として「コスト面」の指摘が対前期7.6ポイント増加。

= 天気図の解説 =

DI30以上	DI10以上 30未満	DI△10以上 10未満	DI△30超 △10未満	DI△30以下

（注）DI（景気動向指数）は、各調査項目について増加（好転）企業の割合から減少（悪化）企業の割合を差引いた値を示す。